

令和5年度（2023年度）

大分大学医学部看護学科第3年次編入学試験問題

総合問題

(注 意)

1. 問題冊子及び解答冊子は試験開始の合図があるまで表紙を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙のほかに白紙1枚，問題5枚，解答冊子は表紙のほかに5枚，下書き用紙は1枚あります。
3. HBまたはFの鉛筆もしくはシャープペンシルで書き，万年筆，ボールペン，色鉛筆などは使用してはいけません。
4. 監督者の指示に従い，開始後，解答冊子の表紙所定欄に受験番号・氏名をはっきり記入しなさい。
5. 解答は，解答冊子内の指定された枠内に**横書き**で記入しなさい。
6. 解答欄の解答に字数制限はありませんが，枠内に記述しなさい。
7. 答案のはじめに問題の文章を転記する必要はありません。
8. 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ってかまいません。

問題 1

膵臓の働きについて述べなさい。

問題 2

大動脈弓から分岐する動脈について記しなさい。

問題 3

バセドウ病の血液検査を説明しなさい。

問題 4

自然免疫について説明しなさい。

問題 5

全身の浮腫をきたす疾患を 3 つ挙げなさい。

問題 6

副腎皮質ステロイドの副作用を記しなさい。

問題 7

低血糖について説明しなさい。

問題 8

慢性腎臓病 (CKD) の重症度の指標を挙げなさい。

問題 9

地域包括ケアシステムの定義を説明しなさい。

問題 10

健康寿命の概念と近年の推移について説明しなさい。

問題 11

世界保健機関 WHO の健康の定義について 3 つの側面を挙げ、それぞれの側面について健康とはどのような状態か説明しなさい。

問題 12

腋窩による体温測定では、体温計をどのように挿入しますか。またそれはなぜか説明しなさい。

問題 13

意識レベルの判定について「JCSⅢ-200」とはどのような状態か説明しなさい。

問題 14

スタンダードプリコーションについて、感染源 4つを挙げ、その考え方を説明しなさい。

問題 15

在宅看護の場としてどのような場が挙げられるか記しなさい。

問題 16

介護保険制度による訪問看護の対象について説明しなさい。

問題 17

訪問看護ステーションの看護師が連携する職種を 3つ挙げ、それぞれの連携の内容について簡潔に述べなさい。

問題 18

成人の学習者の特徴を説明しなさい。

問題 19

予防の概念について、一次予防、二次予防、三次予防の内容を説明しなさい。

問題 20

与薬における 6つの原則を説明しなさい。

問題 21

術後管理における、創部観察の目的と観察点について説明しなさい。

問題 22

エリク・エリクソンの老年期の発達課題について説明しなさい。

問題 23

高齢者が脱水をおこしやすい理由について説明しなさい。

問題 24

成人とは異なる高齢者の疾病の特徴について説明しなさい。

問題 25

3か月の乳児の親に対する問診で確認する運動機能発達や心理・言語的発達について説明しなさい。

問題 26

子どものバイタルサインの測定の順番とその理由を説明しなさい。

問題 27

リプロダクティブヘルスの基本的要素を説明しなさい。

問題 28

分娩の三要素を挙げ、分娩について説明しなさい。

問題 29

レジリエンスについて説明しなさい。

問題 30

うつ病の診断がある患者への看護の要点について説明しなさい。

問題 31

「フレイル」とは、健康な状態と要介護状態の中間的な段階をいいます。2014年に日本老年医学会によって提唱され、「高齢期に生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの転帰に陥りやすい状態」と定義されました。フレイル予防として、どんな看護が必要か、あなたの考えを述べなさい。

問題 32

Aさん(72歳、男性)、本日より、発熱(KT38.9℃)、咳嗽、喀痰、倦怠感、下痢、嗅覚障害、味覚障害などが生じたため、救急当番医を受診した。5日前、職場で会食があった。そのうちの一人にCOVID-19陽性者があった。

問 救急外来受診時看護師として、どんな対応をしますか。

問題 33

次の事例紹介を読み、Bさんの全人的苦痛について、あなたがアセスメントした内容を記述しなさい。

Bさん(77歳、男性)は、進行性食道がんのステージIVと診断され、化学療法と放射線治療を受けた。退院後、Bさんと妻(72歳)の意向により、訪問看護を受けながら在宅で療養していた。3か月後、肺転移が認められ、呼吸困難が増悪したため入院した。経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)は95%であるが、安静時でも呼吸困難を訴え、浅い頻呼吸となっている。発熱はなく、咳嗽はあるが肺炎の併発はない。「苦しくて夜も眠れない」と訴えがある。

Bさんは、50歳代から野球のスポーツ少年団の監督をしており、週に3回、小中学生の子どもたちに野球を教えていた。現在も監督の立場であるが、治療を開始してからは、子どもたちへの直接指導は行っておらず、コーチ陣からの相談に応じている。妻も長年、スポーツ少年団を共に支えてきた。

肺転移の病状と治療については、医師からBさんと妻に説明が行われ、妻は落ち込み涙を流す様子があった。Bさんは考え込む様子があり、「残していく妻のことが心配」「少年団の監督を続けたい」「早く家に帰りたい。」と話す。

問題 34

次の事例紹介を読み、以下の問いに答えなさい。

Cさん(87歳、女性)は、アルツハイマー型認知症、高血圧の診断されている。現在、夫(88歳)と二人暮らし。食事や排泄等の基本的ADLは自立しているが、調理や買い物、薬の管理等のIADLが難しくなっている。要介護2で、デイサービスを週3回利用している。デイサービスでは他の利用者とよくおしゃべりをし、楽しく過ごしている。

ある日、Cさんは肺炎にかかり入院し、酸素投与、点滴治療が行われた。入院時の体温37.5度、呼吸数23回/分、脈拍78回/分、血圧122/76 mm Hg。医師から説明を聞いたCさんは「肺炎ですか、少し息苦しいね、早く治して帰らないとね、家にいるお父さん(夫)が心配」と言った。

入院した夜、Cさんは酸素マスクをとり、点滴を自己抜去し、「家に帰る」と険しい表情で、

興奮気味に訴えた。看護師が「Cさんは肺炎で入院しているんですよ」と伝えると「そうですか」と一旦納得するものの、再び「帰ります」と荷物をまとめようとした。

問1 入院した夜、Cさんに何がおこっているのかアセスメントした内容を記しなさい。

問2 問1のアセスメントをふまえ、この時、Cさんにはどのような看護が必要と考えますか。あなたが考える看護の内容を具体的に述べなさい。

問題 35

「こころのバリアフリー宣言（厚生労働省，2004）」について、以下の問いに答えなさい。

問1 「こころのバリアフリー宣言」の目的を説明しなさい。

問2 あなたが暮らす地域において、「こころのバリアフリー宣言」はどのように浸透していると感じますか。あなたの見解を述べなさい。